

公共外部空間の設計意図と構成の変遷に関する研究 — 日本国内の近年の博物館建築を対象として —

指導教員 加茂紀和子 教授

長濱颯哉

1. 研究の背景と目的 日本の博物館建築は、社会情勢による影響を受け、時代とともにその形態を変化させており、近年では、まちに開かれ地域と連携して活動を行っている事例も多くなっている。そのため博物館建築は単に収蔵、展示機能だけでなく多様な役割を担うために屋内空間とともに、外部空間の計画も重要であると考えられる。本研究は日本における近年の博物館建築における公共外部空間の特徴を明確にし、その変遷を把握することを目的とする。

2. 研究概要 2000年以降に竣工した博物館建築238件¹⁾のうち、建築化外部〔図1〕をもつ117件を研究対象として、公共外部空間を空間構成と設計意図から類型化し³⁾、対象作品を竣工年順に並べて空間構成の変化傾向を見出す。

3. 空間の構成による分析 対象作品の図面及び資料写真から空間構成の分析を行う。建築化外部には、公共空間から直接到達可能な外接型、一旦建築を介してから当該空間へ至る内包型があり、利用形態については、当該空間に広場的な特性をもつ広場型と、通路的な特性をもつ通路型があることから、〈外接-広場〉〈外接-通路〉〈内包-広場〉〈内包-通路〉型の計4分類を得た。

4. 空間の設計意図に関する言説分析 次に、建築化外部の設計意図を明らかにするため、『新建築』中の設計者による言説を抽出し、語句の出現頻度・傾向をもとに分析⁴⁾を行う。

4-1. 抽出語句の特性 抽出した語句を9種類に分け、それらを3つの言語群にまとめる〔表1〕。

a群は〈地域・人〉に関連し、利用者行動や地域の特色を表現する語句が含まれる。b群は〈自然・環境〉に関連し、風景や環境要素を表現する語句が含まれる。c群は〈建築的な構成・操作〉に関連し、空間の構成や建築要素を表現する語句が含まれる。

4-2. 各例における設計意図別の分類 抽出語句のうち特徴語句上位100語を対応分析し散布図を得た〔図2〕。地域や人に関連する語句と自然環境に関連する語句の対称的な分布から第1軸を「設計意図の対象：人間環境↔外部環境」と解釈し、日常との連続行為と転換群の語句の分布から第2軸を「空間性：連続↔転換」と解釈した。次に対象作品毎に抽出した特徴語句上位10語のうちa群《人間環境》とb群《外部環境》に着目し、それぞれの寄与率の合計値の比較から主に意図された計画主体が地域

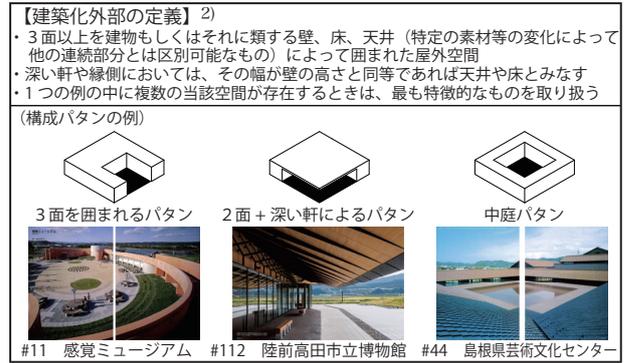


図1 本研究における建築化外部の定義

表1 抽出語句の分類

群分類	言語群	抽出例
a-1	アート	鑑賞、展示、見る
a-2	経路	アプローチ、巡る
a-3	地域性	まち、歴史、文化
a-4	利用者利用	生活、体験
b-1	環境	光、水風、鳥
b-2	風景	緑、森、山、景観
c-1	接続	日常、連続、接続
c-2	転換	日常、非日常
c-3	構成	広場、場、屋根、壁

表2 語群分類・分析例

抽出語句	寄与率	分類	分析
検用	0.67	b-1	資料番号 #18
検用	0.500	c-3	a=0.916 a<b
検用	0.500	b-1	b=1.167 a<b
両側	0.500	c-3	b群の寄与率
露出	0.500	c-1	の方が大きい
ゆるやか	0.333	c-1	である
ダイナミック	0.333	a-4	計画主体は、外
獲得	0.333	a-4	部環境である
突出	0.333	c-1	と判断する
内包	0.250	a-3	

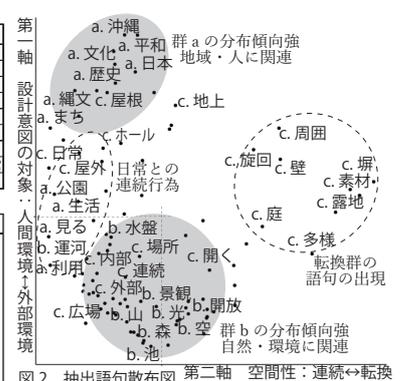


図2 抽出語句散布図 第二軸 空間性：連続↔転換

性や利用者などの《人間環境》か風景や環境要素などの《外部環境》かを判断した。事例として#18の上位語句の寄与率とa、b群の合計値を示す〔表2〕。さらに、c-1とc-2の群の寄与率や元の言説の文脈から日常との《連続》と非日常への《転換》のどちらの空間性を意図しているかを判断した。

5. 構成と言説に基づく建築化外部の類型化と考察

第3章の4つの空間構成と第4章で得られた計画対象と空間性の関係から10類型を得た〔図3〕。

〈外接-広場〉では、博物館の序幕的特性をもつ【A-前庭】型と地域との境界が曖昧な特性を持つ【B-境界融解】型、外部自然環境と連携した【C-ランドスケープ】型がみられた。また〈外接-通路〉では、日常からの空間的転換を意図する【D-転換】型と一般的な通路動線をもつ【E-アプローチ】型、外部自然環境とのつながりを考慮しつつ通路動線の中で世界観を展開していく特性をもつ【F-展開通路】型がみられた。なお【F】型は先行研究ではみられず、2018年以降に現れた型である。

〈内包-広場〉では、非日常的体験を与える展示空間を屋外にもつ【G-屋外展示】型と地域ワークショップや催事利用が可能な【H-中庭広場】型、外部自然環境の要素を館内に取り込む【I-環境装置】

構成別分類	地域から直接到達可能 (外接)型 (71)					建築を介してから到達する (内包)型 (46)									
	<外接-広場>型 (35)		<外接-通路>型 (36)			<内包-広場>型 (37)		<内包-通路>型 (9)							
対象空間性	《人間環境》(19)		《外部環境》(16)			《人間環境》(30)		《外部環境》(6)		《人間環境》(13)		《外部環境》(24)		《人間環境》(9)	
特徴語句を含む言説例	《転換的》		《連続的》			《連続的》		《転換的》		《転換的》		《連続的》		《連続的》	
総数	(9)		(10)			(16)		(8)		(22)		(6)		(5)	
形態図式	意識		意識			視線		視線		視線		視線		視線	
類型	[A 前庭]		[B 境界融解]			[C ランドスケープ]		[D 転換]		[E アプローチ]		[F 展開通路]		[G 屋外展示]	

図3 構成と言説に基づく建築化外部の類型

型がみられた。〈内包-通路〉では館内の空間を通路動線によって転換する【J-屋外通路】型がみられたが、《外部環境》を取り込む等の操作はなかった。

6. 博物館建築の建築化外部の特徴の変遷 次に、対象117件を竣工年順に並べ、建築形態や設計意図の変遷の傾向を考察する。

6-1. 類型化に基づく過去との比較分析 2000年から2024年で、アクセス方法では、外接型の割合が約2倍となり増加傾向がみられた〔図4〕。利用形態でも、通路型の割合が約2倍となり増加傾向がみられた〔図5〕。計画対象では、《外部環境》の割合が半減し《人間環境》の増加傾向が見られた〔図6〕。空間性では、《連続》型が全体の約8割で、主流となっているが、2005年から2014年では《転換》型が多くみられた〔図7〕。類型では、2000年から2014年までは、観光資源として地域の豊かな自然景観を内部に取り込んだ空間を提供する【I-環境装置】型（〈内包・広場〉《外部環境》《連続》）が多かったが、2015年以降減少し、地域と日常的につながりをもつ【E-アプローチ】型（〈外接・通路〉《人間環境》《連続》）が増加していった。また、2018年以降【F-展開通路】型が新たに出現した〔図8〕。

6-2. 変遷の傾向に基づく考察 前節6-1の変遷の背景として、まず2000年「大地の芸術祭（越後妻有）」に始まり、地域を舞台とするアート活動が広まった。2003年には指定管理者制度⁵⁾が導入され、民間による柔軟な管理運営が可能となり、それが浸透した2010年代には日常に根差したアート活動が地方各地で拡大していった。さらに2011年東日本大震災⁶⁾や2014年地方創生政策⁷⁾によって地域に対する役割がますます拡大していった。このような社会の動向によって博物館の社会的ニーズや求められる役割

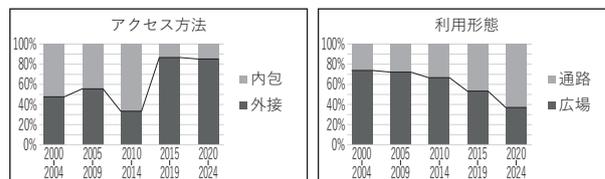


図4 建築化外部へのアクセス方法の変遷

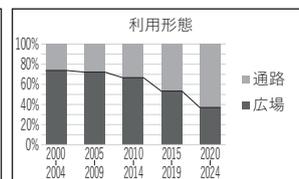


図5 建築化外部の利用形態の変遷

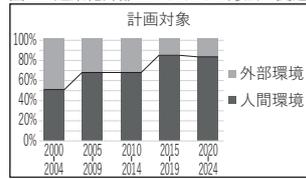


図6 建築化外部の計画対象の変遷

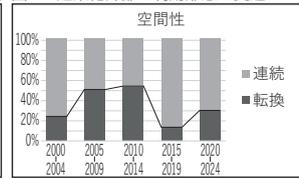


図7 建築化外部の空間性の変遷

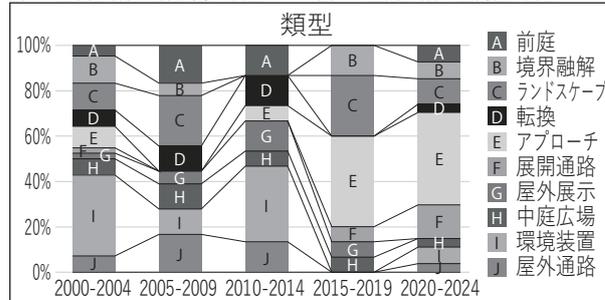


図8 建築化外部の類型の変遷

が変化していき、建築形態は多様化しながら日常的に地域に開くようになっていったと考えられる。

7. まとめ 本研究を通じて近年の日本の博物館建築における公共外部空間の特徴を把握し、それが社会の動きに沿って多様化し、変化してきたことが分かった。今後の社会の動向に伴う新たな博物館建築の計画形態の変化を追って分析していきたい。

【脚注および参考文献】

1) 建築雑誌『新建築』において2000年1月から2025年4月の間に掲載された国内の美術館、博物館、記念館を対象とする。2) 参考：『外部空間の設計』、芦原義信、彰国社、1975 3) 先行研究：津田健太、公共外部空間の設計意図と構成に関する研究—日本国内の近年の博物館建築を対象として—、2018の類型化法を参考にする。4) フリーソフトウェア KH Coder を用いてテキストマイニングを行い語句を抽出、分析した。5) 地方自治法の改正により2003年に導入された制度。多様なニーズに効果的、効率的に対応するため公の施設の管理運営を民間に開放し、経費削減やサービスの向上を目的とするもの。6) 東日本大震災で多くの文化施設が被災し、災害時における文化施設の役割や地域コミュニティの回復手段としてのアートが見直された。7) 博物館建築は「観光客のための非日常空間」から「地域住民とつながる場、学びや交流の拠点」として再定義された。